

情報通信審議会 情報通信技術分科会
I Pネットワーク設備委員会（第 68 回）
議事概要

1 日時

令和 3 年 6 月 28 日（月）15 時 00 分～16 時 00 分

2 場所

Web 開催

3 出席者（敬称略）

（1）委員会構成員

相田 仁（主査）、岩田 秀行、内田 真人、大島 まり、門脇 直人、久保 真、佐子山 浩二、
田中 絵麻、松野 敏行、矢入 郁子、山本 一晴、矢守 恭子

（2）オブザーバ

右田 聖秀（日本電信電話株式会社）、田中 晋也（株式会社 NTT ドコモ）、今井 尚樹（KDDI 株
式会社）、川西 直毅（KDDI 株式会社）、折原 裕哉（ソフトバンク株式会社）、杉本 篤史（ソフ
トバンク株式会社）、北 真也（楽天モバイル株式会社）、雨宮 明（一般社団法人日本 CATV 技術
協会）、石井 義則（一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会）

（3）総務省

竹内 芳明（総合通信基盤局長）、今川 拓郎（電気通信事業部長）、越後 和徳（電気通信技術シ
ステム課長）、鈴木 厚志（番号企画室長）、細川 貴史（電気通信技術システム課認証分析官）、
恩賀 一（安全・信頼性対策室長）、西室 洋介（電気通信技術システム課課長補佐）、乾 浩斉（電
気通信技術システム課課長補佐）

4 議事

（1）開会

- ・事務局（西室課長補佐）より、Web 会議による開催の旨説明があった。

（2）議事

（2-1）事故報告・検証制度等タスクフォース中間報告について

- ・事務局（恩賀室長）より、資料 68-1 及び資料 68-2 に基づき、事故報告・検証制度等タスクフ
ォース中間報告について説明があった。
- ・説明終了後、意見交換を行った。
- ・意見交換模様は以下のとおり。

【内田構成員】

本タスクフォースでは非常に多くの議論があったが、タスクフォース主任として、特に印象的だった
点についてコメントさせていただく。

事務局の説明にあったように、これまでの電気通信事故検証会議においては一定の意義・成果があったという評価をいただいているということだが、その一方で、クラウド化やマルチステークホルダー化が進展したことで、例えば電気通信事故の原因となる関係者からの情報提供が得られず、その結果、原因究明が困難になってしまったり、サイバー攻撃に起因する重大インシデントが、重大事故としての速やかな報告の対象外になってしまったりする実情があり、こういった状況を踏まえて開催されたのが本タスクフォースの位置づけであると考えている。

本タスクフォースの議論の大きな特徴は、その時々状況に応じた情報を臨機に幅広く集め、その情報を分析し、それを通して結論を得るといった考え方が重要であるという視点に立ったことではないかと考えている。報告書の中では、OODAループというキーワードが何度も登場しているが、そういった方法論を取り入れて事故報告・検証制度をアップデートしていくという観点が特徴的であると考えている。

本タスクフォースでは、ネットワークやサイバーセキュリティ、法律、政策、災害、消費者といった視点から、多様なご専門の方々にご議論いただき、また、事務局には、タスクフォースの議論の場が出た非常に多くのご意見を上手に丁寧にまとめていただき、非常に充実した中間報告になったのではないかと考えている。この場をお借りして御礼を申し上げたい。

【田中構成員】

事務局や内田構成員のご説明が大変分かりやすく、緻密な内容だと考えている。特に、クラウド、サイバーセキュリティ、災害の問題点を、システムを通じて効率的に報告する点、そしてその項目も時代に合ったものにアップデートしていく点、今夏というかなり早期の段階でそれを実現しようと計画されているという点に、非常に強い印象を受けている。これにより情報が共有され、その原因が究明されることにより、新しいサービス・製品が出てきたときのリスクがより迅速に解決されていくことが期待できると思う。その意味では、ゼロリスクを目指すのではなく、こういったリスクに対しての対応方法、情報共有方法を準備することにより、技術発展を阻害しない、むしろこういった備えをすることにより技術発展が加速していくのではないかと考える。取りまとめの先生方、皆様に御礼を申し上げます。

(2-2) IP ネットワーク設備委員会第五次報告(案)について

- ・事務局(恩賀室長)より、資料68-3及び資料68-4に基づき、IPネットワーク設備委員会第五次報告(案)について説明があり、第五次報告(案)に所要の修正を行い、近日中に第五次報告(案)について意見募集を行うことが了承された。

(2-3) その他

- ・事務局(西室課長補佐)より、今後の予定について説明があった。

(3) 閉会

- ・相田主査より、本日の会合を終了する旨説明があった。

以上